

高齢者の免許返納の促進に向けた 地方公共団体による対策の効果実証調査について

はじめに

1

- 本市では令和2年度からバス利用を促す動機付けの一部として、名鉄バス株が販売する高齢者パス（シルバーパス65・ゴールドパス70）の購入費用の一部補助を実施してきた。
- 他方、この施策は高齢者の免許返納の促進に繋がるとして令和6年度に国の「高齢者の免許返納の促進に向けた地方公共団体による対策の効果実証調査」に選定された。
- この調査は、原則3年間は施策を継続することが求められており、令和7年度についても国の支援対象に選定された。
- 令和7年度はこれまで実施してきた「高齢者パスの購入費用の一部補助」をリニューアルし、「高齢者パスの購入促進が公共交通の利用に繋がり、免許返納にどの程度有効であるのか」を調査するため、高齢者の免許返納の促進に関するモニター調査として事業を実施する。

●岡崎市の免許返納状況

(単位：人)

		令和4年末	令和5年末	令和6年末
運転免許証 保有者数	全数	274,213	274,479	274,428
	65歳以上	62,356	63,655	64,841
自主返納者数	全数	1,210 (0.4%)	1,066 (0.3%)	1,185 (0.4%)
	65歳以上	1,169 (1.8%)	1,037 (1.6%)	1,148 (1.7%)

背景・目的

実証調査要綱 1,2

背景

高齢運転者の交通死亡事故が深刻な社会問題化



高齢運転者の免許返納が求められるが、なかなか進まない・・・

なぜ免許の自主返納をためらうのか？
ある調査では、約7割の高齢運転者が「車がない生活が不便だから」と回答。

高齢運転者はどんな支援を求めているか？
「交通手段に関する支援（割引等）の充実」や「交通機関の発達」を求める声が多い。

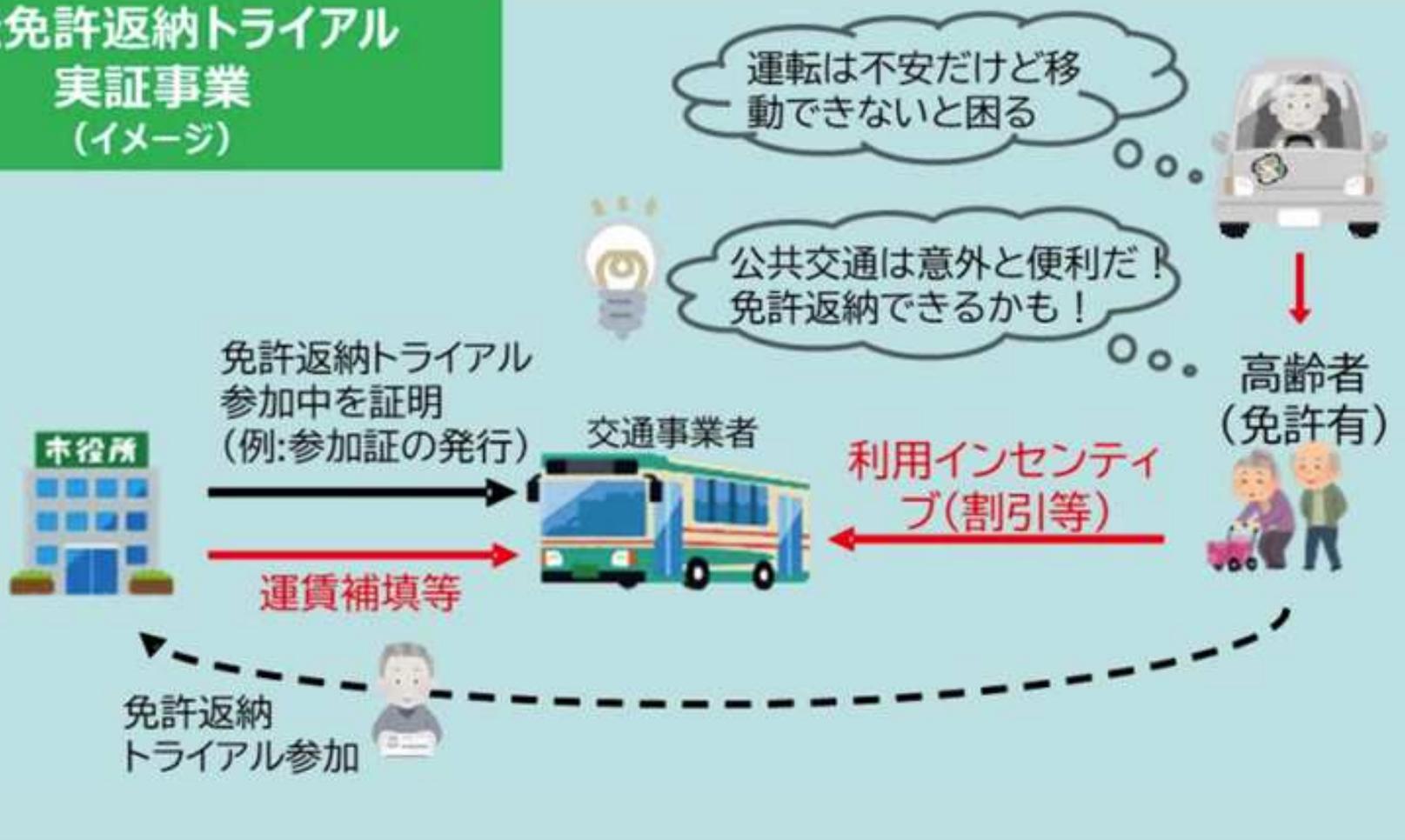
目的

免許返納者への公共交通割引施策を新規で実施する地方公共団体を支援し、その効果を検証することで、より多くの地方公共団体が高齢運転者の免許返納を効果的に促進することを目指します。

令和7年度はこれまでの調査に加えて、高齢者が自主的に運転を取りやめ、公共交通機関等で移動する生活を体験する「運転免許返納トライアル」に関する調査も新たに実施し、より効果的な免許返納促進策の検討を行います。



運転免許返納トライアル
実証事業
(イメージ)

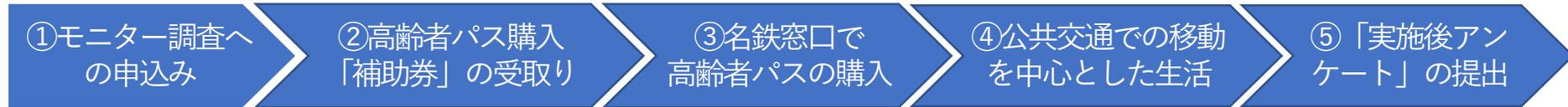


国の説明会資料から抜粋

◆ モニター調査事業概要

免許返納者及び免許返納を検討している65歳以上の市民を対象に、高齢者パスの一部補助を実施し、公共交通での移動を中心とした生活を送ってもらうことで、公共交通での移動に関する課題や、高齢者パスの補助が免許返納の促進に繋がるかなどを調査し、本市の今後の公共交通施策や免許返納施策への参考とすることを目的とする。

◆ モニター調査の流れ



◆ 対象者

- (1) 過去3年間のうちに免許返納した65歳以上の市民
- (2) 次回の免許更新までに免許返納を検討している65歳以上の市民
(本市のトライアル事業については、宣誓書の提出にて対応する予定)

◆ 調査開始予定時期

令和7年9月中旬開始予定

◆ 補助金額

- (1) 1ヶ月券：2,000円補助
- (2) 3ヶ月券：5,000円補助



	シルバーパス65 (満65歳～69歳)	ゴールドパス70 (満70歳以上)
	通常価格→購入価格	通常価格→購入価格
1ヶ月券	7,000円 → 5,000円	5,500円 → 3,500円
3ヶ月券	20,000円 → 15,000円	16,000円 → 11,000円

◆ 予算額

120万円 (1人・1回 予算額に達した段階で終了)